

自己実現への道

第23回 - 運命を変える秘訣(その13) -

-人生で成功する秘訣

● 成功への最終段階へ・・

成功の人生を送りたいと思ったら、強いセルフイメージをもつだけではなく、他人の善意や助けも得られるということをも想像することが大切である。そして、自分もまた「自分がしてほしいように、他人に対して行う」ことが大切である。すなわち、助けを必要としている人を見つけたら、自分を相手の立場に置き換えて、相手に心からの援助を惜しまないこと・・それは必ず自分に還ってくるという目に見えない法則を信じ、実践することが大切である。「良い種を蒔けば、良い実を収穫することができる」のだ。

成功を目指す第一段階が「目標の設定」、第二が「信念」、第三が「イメージング」だとすると、第四の最も大事な段階は「神をパートナーとする」ことだとノーマン・ピールは言う。すなわち、第一段階が目標の設定にあることは明白である。第二段階が信念（できると信じること）。積極的に立ち向かう気持ちにならなければ仕事は成功しないのでピールは「信念」という言葉を使ったが、「信念」まで至らない人は第二段階として「積極的な姿勢」が必須である。第三は「イメージング」であり、「必ずやってみせる」ということであり、成功した姿をイメージするだけでなく、そのための創意工夫をこらすことが必要であろう。すなわち「イメージングと努力」ということであろうか。絶えず信念し、努力するのである。努力のみでは成功はできない。成功した姿を具体的にイメージすることが重要である。

さて、第四段階として「神をパートナーとする」と述べているが、これは「奇跡的な成功」へ導くための多分に宗教的な精神世界、すなわち自己の持つイメージを超越したさらに大きな飛躍をもたらすための原動力になる。「祈り」の持つ偉大なパワーというものはこれらの四段階のすべてを形にするための最後の力になる。固い信念に支えられた強いイメージは何者にも負けない。信じる心が、緊張、恐れ、心配、その他もろもろの、成功を妨げるネガティブな力を追い払うのである。

宇宙の最も強い力が味方してくれるというのに、失敗を恐れる必要などどこにある。信念をもつ人達は澄んだ穏やかな気持ちになれる。そしてこうした気持ちの中から私たちが成功とよぶ、日光に輝くオアシスが出現するものである。「澄んだ穏やかな心」。これ以上敬虔なものがあるだろうか？

また、私たちは信念によって人生をやり抜くのに必要な勇気と意思の力、さらには人生を勝利に導く青写真も与えられる。神を信じる人々にはつねに澄み切った穏やかな気持ちが働きかけているのである。

「悩み」「心配事」はあなたを必要以上に苦しめ、時間のロスをもたらしてしまう。「澄んだ穏やかな心」で、ひたすら坦々とやるべきことをやればよい。問題は必ず起こってくる。それに惑わされては行けない。悩まないで、やるべきことをやっていれば、問題などどこにもなかったことに気付くであろう。

「やればできる」ただひたすら、「やる」以外に進歩はないのだ。

<MIKO>

参考文献：人間向上の知恵 ノーマンピール（謝世輝訳）三笠書房